

がん患者さんのための社会保険労務士による

2021年度 就 労 個 別 相 談 会

働く世代のがん患者さんは、就労上の様々な悩みを抱えています。
社会保険労務士による就労個別相談会を開催いたします。(予約制・無料)

場 所：がん相談支援センター 面談室

日 付：	第1回	2021年4月19日(月)	14:00～17:00	終了しました
	第2回	2021年5月17日(月)	14:00～17:00	終了しました
	第3回	2021年6月21日(月)	14:00～17:00	終了しました
	第4回	2021年7月26日(月)	14:00～17:00	終了しました
	第5回	2021年8月23日(月)	14:00～17:00	終了しました
	第6回	2021年9月27日(月)	14:00～17:00	終了しました
	第7回	2021年10月18日(月)	14:00～17:00	
	第8回	2021年11月22日(月)	14:00～17:00	
	第9回	2021年12月20日(月)	14:00～17:00	
	第10回	2022年1月17日(月)	14:00～17:00	
	第11回	2022年2月21日(月)	14:00～17:00	
	第12回	2022年3月28日(月)	14:00～17:00	

対象： がんと診断された患者さん・ご家族の就労に関する相談。

※就職については長野ハローワークから専任の相談員が当院にて相談会を行っています。

ハローワーク長野からの専任相談員への相談会は就労個別相談会13:00～です。

募集人数：1回当たり3組まで

予約方法：がん相談支援センターへ直接又は主治医・看護師へお申し出いただくか、
下記電話でも予約を承ります。予約時に相談内容をお知らせ下さい。定員
になりましたら締め切りとなります。

[お問い合わせ先]

信州上田医療センターがん相談支援センター

電 話：0268-22-1895 (直通)

受付時間：平日 9:00～16:00迄

担 当：がん相談支援センター看護師 ・ 医療ソーシャルワーカー

入院サポートセンターのご案内

入院が決まりましたら、**入院サポートセンター**にお越しください。

入院サポートセンターの流れです。

1. 外来受診され入院が決まりましたら、外来看護師より入院サポートセンターへのご案内があります。
2. 入院サポートセンターの事務職員より、入院案内をさせていただきます。入院療養生活が不安なく送れるように、必要な情報を提供します。
3. 看護師より、入院に必要な患者さんの情報収集を行います。主治医や病棟看護師、多職種と連携をはかり、少しでも患者さん・ご家族の不安や心配ごとが解決できるようサポートします。
4. 内服薬について確認を行います。(お薬手帳をご提示頂きます) 薬剤師が、手術や検査の際に中止するお薬があればその説明を行います。
5. 栄養状態や嚥下機能について確認を行います。
6. 退院後、療養生活継続のための生活再編による相談、(介護保険制度・訪問看護など) 医療費・福祉制度(身体障害者手帳、難病医療法など)に関する公的支援等の相談など、医療ソーシャルワーカーが相談に応じます。



1F 入院サポートセンター



入院に必要な入院手続きや説明事項を一か所で受けられるようになりました。

入院サポートセンターの開設に伴い、入院に関わる業務は、入院サポートセンターに移行しました。そのため入院手続き(申し込み)や入院当日の入院病棟の確認ご案内、入院セット受付の場所となります。

地域医療連携係長 小林和加子

●2021年3月29日より院内の売店は1Fから7Fに移転しました。●

店舗も広くなり、今までよりお買い物がしやすくなっています。是非ご利用ください。

■営業時間：平日 / 8:00~18:00

土・日・祝日 / 9:00~16:00



附 属 看 護 学 校 だ よ り

防災訓練

災害時の対処法を学び、安全管理に関心を持つ機会にすることを目的に5月25日に防災訓練を行いました。

今回は、学校内の火災を想定して避難訓練を行い、消火器の取り扱いを学んだり、防災グッズの確認を行いました。災害対策委員より防災規定の説明があり、避難場所や消火栓の場所等、再確認しました。



上田市消防署のご協力を得て、消火器の取り扱いの説明を受けています。

【学生アンケートより】

- ・ 皆と協力しないと1人でも取り残されてしまうことが分かった。
- ・ いつどこで何が起こるか分からないので、食料等が必要だと思った。
- ・ 消火栓の細かい使い方を知らなかったなので、説明を聞いて良かった。

基礎看護学実習

6月に2年生の基礎看護学実習がありました。この実習は、患者さんの情報から考察し、看護計画を立てて実施・評価することを目的としています。

初めて患者さんの看護計画を立てるにあたり、事前学習をし、技術練習をして実習に臨みました。

実習を終えた2年生は、患者さんの看護について考えています。その一部を紹介したいと思います。



患者さんの血圧を測定する前に、血圧計の点検をしています。



受け持ち患者さんの看護を考えるため、グループでディスカッションをしています。

◆基礎看護学実習後のグループワークでの振り返り◆

(1) 患者さんを総合的に理解するために必要なこと

- ・ 観察やコミュニケーションを通してアセスメントすることが必要である。
- ・ コミュニケーションを通して患者さんの言葉の奥にある気持ちに気付くことが大事である。

(2) 患者さんに合った看護援助の内容や方法

- ・ 患者さんの特徴、個別性に応じた関わり方や援助が重要である。
- ・ 1つの問題に対し、多角的な視点から考えることが大切である。

(3) 今後の実習に向けての課題

- ・ 根拠のある行動や援助を実施する。
- ・ 自分の考えている看護計画を立てるのではなく、患者さん自身になりたい姿を聞き、それに沿った看護計画を立案し、実施する。
- ・ 知識をつけて、アセスメントする力を身につける。